

7人中5人が新部長に

前年度の倍以上の215人が異動に

沼田市は、3月22日に新年度に向けて職員の人事異動を内示しました。前年度の90人を倍以上上回る215人、新規採用は13人、退職者は21人です。

部長級は5人が昇任し、総務部長は、川方一巳氏、市民部長は、石井旭氏、健康福祉部長は、小池久美子氏、議会事務局長は、小菅伸一氏、教育部長は、藤井隆氏に、都市建設部長は、前教育部長の坂田誠二氏、利根沼田広域圏事務局長に前議会事務局長の木暮保夫が就任します。

さらに機構改革も

教育委員会の庶務課を教育総務課、社会教育課を生涯学習課、市民部市民課国保年金係を健康福祉部国保年金課に変更。市民部税務課を課税課と収納課に分割しました。4月1日から執行となります。

街なか区画整理はあと20年はかかる？

新年度予算額は3億6千万円

本町通りを再生しようといわれている中心市街地土地区画整理事業に新年度は、3億5,988万2千円が予算化されています。そのうち東和銀行などへの物件補償費が、2億8,450万円です。この他、上之町の空き区画へ旧沼田教会記念会堂を移築させる事業に、1億311万9千円が予算化されています。

1998年に始まったこの区画整理事業に約80億円が投入されてきましたが、まだ道半ばで、事業計画は2024年度までとなっていますので、それまでに終わらせるには、毎年10億円以上が必要になります。いままでの年間3億円程度の予算配分ですと完成までに、あと20年程度はかかります。また、当初の商店街を再生させる計画は、うまくいかずに行き当たりばつたりのようになってきました。区画整理事業は直ちに中止し、他のまちづくり事業に転換させるべきではないでしょうか。



街なかに移転させた生方記念文庫と沼田貯蓄銀行
このウラ側に旧沼田教会記念会堂を移築する

3月議会報告

「非常勤職員の待遇改善」及び「核兵器禁止」両請願は継続に



12月議会で継続審査となっていた「会計年度任用職員制度施行に伴う臨時・非常勤職員の地位・待遇改善を求める意見書提出を要請する請願書」と「『核兵器の禁止条約の署名・批准』を求める意見書の提出を求める請願書」、は、3月14日の総務文教常任委員会で審査されました。

「非常勤職員の待遇改善請願」は、採択1人、継続5人で継続審査に。

「核兵器の禁止条約請願」は、採択2人、趣旨採択1人、継続3人で、継続審査になりました。

通常であれば、「継続審査」は、次回の議会で再審査になりますが、今回は、議員の任期が終了するので廃案になってしまいます。



新教育長は横坂隆司氏

大竹孝夫教育長の任期が終了するのに伴い、市教育委員会教育長任命の同意について、3月議会最終日の本会議に市長から、横坂隆司氏（現沼中校長）が提案され、全会一致で同意されました。

2019年3月31日 No.920

いのさんニュース

発行所沼田市下久屋町983 ☎23-1519

井之川博幸議員活動地域版部内資料